

【一般教育部】

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	新免 貢	古代オリエント神話の人間観	神話は、人間存在や世界の理法を把握する古代人の思想表現の方法です。自然世界、土なる人間存在、「これこそわが骨の中の骨、わが肉の中の肉！」と言い表される男と女の一体性などについて神話的観点から考察します。	初期キリスト教思想
		リスボン大地震と思想家たち	1755年のリスボン大地震は、ヴォルテール、ルソー、カントなどの啓蒙主義時代の思想家たちに大きな影響を与えました。彼らの思想を通して、阪神淡路大震災・東日本大震災後の社会を作り直すヒントを模索します。	
教授	田中 一裕	虫たちの冬越し	冬の寒さをいかにしてのりきるか。これは温帯で暮らす虫たちにとって避けては通れない問題です。彼らはじつに多様な方法で寒さに耐え、冬を生き抜いています。寒さに耐える仕組みを中心に、虫たちの冬越しの不思議を紹介いたします。	生理生態学
		ヒトと虫	かつて日本人は世界に名だたる虫好き民族でした。しかし、最近では日本でも虫を嫌う人が多い、といえます。なぜヒトは虫を嫌うのか？ ヒトと虫が良い関係を築くことは不可能なのか？ アンケート調査の結果をもとに、現代日本人の昆虫観を考察します。	
教授	近松 健	宇宙の科学	太陽系惑星はなぜ多様な姿を見せるのか、太陽の内部をどのように知るのか、夜空に瞬く恒星は私たちとどのような関係にあるのか、ブラックホールは怖い存在なのか、宇宙はどのようにしてはじまったのか。宇宙の基本的なことから、これまでにどのようなことがわかり、どのような謎が残されているかを紹介します。	物理学
准教授	木口 寛久	英語と世界の音と文字	この講義では、果たしてアルファベットが英語の発音を正確に表しているのかいないのかという問いについて考えていきます。また、それに関連して、世界のいくつかの言語の音と文字を、英語と比べながら紹介します。	英語学 第一言語習得
准教授	木村 春美	Rainbow War	“Rainbow War”という短編映画をもとに英語技能の育成と共に異文化理解を進めます。異質な他者との出会いは私たちの日常に溢れています。そうした他者とのような関係性を構築していくかを考えます。	第二言語習得論 英語教育
		ドラマで英語	気持ちを込めなければ言葉にならないのは日本語も英語も同じです。ドラマ仕立てで感情表現を工夫し、会話を楽しみましょう。役になりきる！これこそ学習のコツです。	
		英語発音で遊ぼう	英語の発音は難しいと思ってしまういませんか？ 逆に、英語でのコミュニケーションで、相手に理解してもらえず悲しい思いをしたことはありませんか？ 練習なしには上達しませんが、考えすぎて臆病になる必要ありません。楽しみながら英語発音の基礎を学びましょう。	
准教授	栗原 健	イエスのたとえ話	新約聖書に記されているイエスのたとえ話は、当時の人々の宗教常識やものをひっくり返すような要素が数多く含まれています。「なんでやねん！」と驚くことによって、2000年間人々を魅了してきた知恵を学び、新たな視点から現代社会の問題などを考察して行きます。	キリスト教史 ドイツ史
准教授	高橋 陽一	江戸時代の旅	修学旅行、卒業旅行、新婚旅行…。今日の私たちにとって旅は人生の大きな一ページです。誰でもどこへでも旅ができる、そんな現代的な大衆旅行の環境が日本で整ったのは近世(江戸時代)です。飛行機も鉄道も自動車もないこの時代に、人々はどのように旅をしたのでしょうか。女性ならではの苦労話も織り交ぜながら、お話します。	歴史学 日本近世史

【現代ビジネス学部 現代ビジネス学科】

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	石原 慎士	産学・異業種連携による地域性を生かした商品開発について	消費市場の成熟化や海外製品との競争によって、「良いモノ」をつくっても売れない時代になりました。本講義で蔵石巻地域における産学・異業種連携による商品開発事業について例示しながら、地方都市における地域性を生かした商品開発の手法について説明します。	商学 経営学
		地域ブランドの構築に向けた地域マーケティングあり方について	近年、地域ブランドの構築を試みる地域が増えてきました。しかし、期待していたような成果が見られず、事業が衰退してしまうという事例も散見されます。本講義で、現代的なブランドの概念を踏まえながら地域ブランドの構築手法や地域マーケティングのあり方について説明します。	
教授	市野澤 潤平	南の楽園で働くということ：タイにおける日本人観光ダイビング・ガイドの職業生活	グローバル化が進行する今日の世界において、海外で働くのは、決して特別なことではありません。本講義では、タイのプーケット島を主な事例として取り上げながら、海外のリゾート観光地で働く日本の若者達が直面する、楽しくも厳しい現実を、紹介します。	観光学 文化人類学
		商品化されたエスニシティ：台湾におけるタイ料理店の歴史と現状	本授業では、台湾におけるタイ料理店を事例として取り上げ、「民族」に固有のものであるはずの「文化」が、市場で売買される商品となっている現状について、考察します。	
教授	高橋 英博	社会と個人 ―どこから そして いずこへ―	「社会」って、何なのだろうか。また、「個人」って、何なのだろうか。どこからきて、いずこに向かうのだろうか。こうしたことについて、日本社会の戦後史を一つの事例にしながら考えるとともに、そこから、その普遍的な学知を取りだしてみます。	社会学
教授	ブレンダ・ハヤシ	コミュニケーションとは何？（異文化間コミュニケーション）	コミュニケーションという言葉聞いたとき、心に思い浮かべるのは2人の人物が話しているイメージである。このレクチャーを通じて、「コミュニケーション」というものは、2人の話し手以上に関わるものである、と理解できるだろう。コミュニケーションは以下の特徴を持っていることを学びます。 1)「意図」は必ずしも必要ない 2)シンボルを使う活動である 3)文脈（コンテキスト）を伴う 4)プロセス（過程）である 5)共同作業である	応用言語学
		非言語コミュニケーション（同上）	2人の人物が話をしている。彼らの会話の中の情報を100%とすると、その情報の約65%が非言語的手段を通じて伝わる、と言われていました。良い伝達者になるには、コミュニケーションに影響を与える非言語的要素について知ることが重要である、ということはこの事実が示しています。身体特徴、空間の使い方、接触行動、準言語、人口品（所有物）、環境要素、時間の使い方などの非言語的要素に関する学習してみましょう。	
教授	マーク・ヘレガソン	ビジネスの世界であなただけの名刺を	名刺はどれも同じに見えます。白いカードに会社のロゴと会社名、それからももちろんあなたの名前。果たしてそんな名刺に効果はあるでしょうか。クリエイティブな名刺、自分だけの名刺を作りましょう。また、ビジネスの世界で光る自己紹介についても学びます。	英語学
		パワーポーズ：役立つかな？	あなたは自分の気持ちから姿勢に現れることを知っていますか。逆に、姿勢があなたの気持ちに反映することはどうですか。心理学の世界で「パワーポーズ」と呼ばれているものを体験的に学びます。これは、ハーバードビジネススクールで生まれた考え方、自己肯定感を高めると言われています。挑戦してみませんか？	
教授	宮原 育子	観光ビジネスの楽しさ面白さを伝えます	観光は人々に最も人気のある余暇活動の一つですが、この観光を消費者の立場ではなく、事業（ビジネス）をする立場から考えます。観光が社会のどのようところで役に立っているのか、どのような役割があるのかについて、具体的な事例を紹介しながら理解を深めていきます。観光関係に進路を考えている方に最適です。	観光学 地理学
		地域資源を活かしたまちの魅力づくり	近年地域が主体となった観光まちづくりが各地で盛んです。地域の様々な事象を「資源」ととらえ、その資源を活用して新しい価値を創造するプロセスとそれによってまちの魅力を高めていくことの重要性を考えます。特に東日本大震災で被災した地域の観光の取り組みを紹介していきます。	
教授	姚 国利	私たちの生活と国際貿易	国際貿易というと、ほとんどの方にとって縁遠いものと感じるかもしれませんが。しかし、私たちの日常を見渡すと、国際貿易によってもたらされたものがあふれています。私たちの身のまわりには多くの外国製品、特にアジアで作ったものがたくさんあります。この授業では、実際の商品や写真をお見せして、私たちの日常生活に外国製品が使われていることを知ってもらいます。	社会学
教授	渡部 順一	海外こぼれ話(台湾編)	研究の過程で国内外様々な地域を訪れています。学術研究以外でも興味深く、行って初めてわかることも多くなっています。今回は、台湾（特に、台北など）で見聞きたことを写真、映像を交えながら、ビジネスの視点から紹介していきます。	経営学
		女性のキャリアと地域活性化 ～女性活躍推進法の施行を受けて～	少子高齢化、グローバル化様々な課題がある中で、女性のキャリアをどのように形成していけばよいか、また、女性の活躍推進がどのように地域活性化に結びつくのか、女性活躍推進法を踏まえて、ビジネスの視点から紹介していきます。	
教授	渡部 美紀子	財務諸表って何だろう？	損益計算書や貸借対照表は、財務諸表と呼ばれます。難しそうに感じますが、実はほんの少しの知識でその内容が分かるようになります。これがわかると、会計に関する新聞記事もかなりわかります。色々な会社の財務諸表に触れてみましょう！	会計学
		「お弁当屋さんを開こう！」	「お弁当屋さん」を開業するにあたって、プロダクト・ポートフォリオ・マネジメントの視点から、売り出すお弁当のラインアップを考えてみましょう。また、開業するのに必要な要件は何かについて考えます。グループに分かれて、どこが一番儲かったも競います。	

【教育学部 教育学科】

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	足立 智昭	乳幼児期のこころの発達	乳幼児期は、5感を使って環境に働きかけて遊ぶことが重要です。しかし、IT機器が乳幼児の身近なおもちゃになるなど、乳幼児期の発達に好ましくない状況が生じています。乳幼児期の心の発達の本質について、皆さんと一緒に考えましょう。	発達臨床心理学
		コミュニケーションにおける顔の役割	「目は口ほどにものを言う」ということわざの通り、人は、表情を介して重要な情報交換を行っています。しかし、現代の若者は、表情が乏しくなっており、対人的なコミュニケーションが苦手な人が増えています。ワークショップを通して、あなたもコミュニケーションスキルをアップしましょう。	
		病児とその家族の理解とサポート	病児を持つ子どもは、決して少なくありません。また、病児を育てる親は、大きなストレスを被ることになります。病児とその家族のサポートの在り方について一緒に考えましょう。	
		震災後の心のケア	東日本大震災から3年以上が経過しましたが、心の問題を抱える人は、益々増えています。それは、虐待、DV、ストーカー行為、少年非行の増加にも表れています。心の復興に私たちは何が出来るのか、ワークショップを通して一緒に考えましょう。	
教授	石川 隆	切り紙による様々な図形	折り紙を規則的に折って切るにより、花や星などの形を作り出す方法を学びます。	美術・造形
		色の世界(色の組み合わせ)	画面を一定の規則にそって分割し色の組み合わせを考えながら着色することによって、抽象的な絵画を製作します。	
		紙工作(蛇腹を使って)	蛇腹折りと言う折り方を利用して子どもが遊べる簡単なおもちゃを製作します。	
教授	磯部 裕子	保育という仕事 —子どもの発達に関わるとは—	幼稚園の先生や保育所の保育士は、子どもとともに生活し、子どもの遊びを通して教育します。「遊びを通して教育」するとは、子どもの遊び相手をするものではありません。「遊び」という体験によって子どもが学び、子ども自身が発達するための支援をするのが保育という仕事です。こうした保育の仕事の具体を紹介しながら、子どもの成長に関わることの意味を講義します。	幼児教育学 保育カリキュラム論
		世界の保育事情と日本の保育 —子育てからみた文化論—	世界のどんな国でも、子どもは大人たちに支えられながら成長していきます。しかし、子育てのあり様は、国によって実にさまざまです。授業では、世界各国の保育事情を紹介し、日本の保育と比較検討してみたいと思います。子育てのあり様から、国の文化を見ることが出来ます。	
教授	大内 典	楽器で探る世界の文化	ピアノ、吹奏楽の楽器、民族楽器—すてきな音楽を生み出す道具ですが、それだけではありません。楽器には、それを生み出した文化の情報がぎゅぎゅと詰まっています。楽器から人間の活動の豊かさ、深さを探ってみましょう。	音楽学 音楽文化学
		歌声さまざま—声の文化の多様性	澄んだ透明な声は良い声ではない！？ 動物を声であやす！？ お坊さんは唄で修行する？ —意外に充ちた声の文化の広がり底にあるものを探ります。	
教授	熊坂 聡	社会福祉の基礎	社会福祉は生活を支えるサービスとして大切な制度です。しかし、自分たちには関係のないと思っている人たちがたくさんいます。ここでは、年金・医療、老人福祉、障害者福祉、児童福祉など、社会福祉の基礎的なことを身近な話題を通して学び、福祉に関心を持ってもらうことを目的とします。	社会福祉
		会話の限界と可能性について	社会福祉の分野では相談援助が大切になってきています。ここでは、体験を通して人との会話の実態を明らかにし、どう会話するとよいコミュニケーションになるか、信頼関係を結んでいい話ができるようになるかについて、体験しながら学んでいきます。	
		社会保障を考える～デンマークの社会保障と福祉の仕組みを通して～	社会保障はセーフティネットと言って私たちの生活を下支えする大切な仕組みです。日本は、この社会保障どのようにして持続可能な仕組みにしていくのか真剣に考えなければならない状況にあります。この講座では、福祉先進国デンマークの年金、教育、医療など政策及びサービスのしくみとその財源のしくみを紹介し、それを材料に日本がこれからどのようにしていけばよいのかを考えてみます。	

【教育学部 教育学科】

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	西浦 和樹	生活を豊かにする「こころ」の話	日々の生活の中でのコミュニケーションの取り方について、もう一度見つめ直してみましょう。心理学の観点からアドバイスします。	教育心理学
		スウェーデンの教育とくらし	スウェーデンは、ノーベル賞などで有名な発明の国です。スウェーデンで実施した幼児・児童教育研修での視察の様子をご紹介します。	
教授	松浦 光和	カウンセリングって何だろう	今日、小学校・中学校・高校では沢山の問題が起きています。これらの問題にカウンセリングで対応することがありますが、意外にカウンセリングについて、深く知っている人は少ないものです。カウンセリングの意味・メカニズムを分かりやすくお伝えします。	臨床心理学
助教	松原 弘子	ボランティア活動入門	日本では、阪神淡路大震災の被災地支援で社会的に大きな注目を集めるようになり、以後、社会の中の様々な場面でその活躍が報じられるようになったボランティア。「自主性」「無償性」「社会性」「責任性」を原則に、身近な清掃活動から、国際紛争地域で活躍する医療ボランティアまで、いろいろなボランティア活動を紹介し、みなさんの「何かやってみたい」気持ちを後押しします。	社会福祉 医療と人権
		AIDSと人権	AIDSを知っていますか？以前に比べて報道されることが少なくなってきましたが、日本国内で感染者・患者が増えている実情は変わっていません。どんな病気が、どのように感染するのかなどの基礎知識から、なぜ患者が差別されるのか、差別の何が問題なのかについて考えてみましょう。	
教授	梅田 真理	発達障害のある子どもの理解と支援	発達障害の特徴や、接し方について誰でも知っておいて欲しいことをお伝えします。知っていることが、共に生きることの第一歩です。	特別支援教育 発達障害のある子どもの教育
教授	白石 雅一	「障害」「障がい」「障がい」とは何か、を「社会」や「人」との関係から学ぶ	「障がい」は、周囲との関係によって決められていくものです。この関係重視の「障がい論」を具体的に講義します。	子どもの福祉 障害児の療育 心理療法
		自閉症や発達障害をもつ子どもや人の理解と接し方を学ぶ(入門編)	テレビや雑誌、多くの新刊本で目にするものが多くなった、自閉症や発達障害。その実際を知らないし援助も出来ないし、友だちにもなれません。関わりの第一歩をお教えします。	
教授	竹田 幸正	教科書の中の児童文学	現在、小学校で使用されている教科書には、数多くの児童文学作品が収録されています。その中には、「ごんぎつね」や「大造じいさんとガン」のように長きにわたって掲載されている作品もあります。そのような作品が教室の子供たちにどのように読まれているのかを紹介します。	国語科教育
教授	松本 晴子	人間にとっての音楽の機能について	私たちの生活の中でさまざまな役割を果たしている音楽について考え、人間の発達に応じた音楽の機能について学びましょう。	音楽教育
		子どもの歌の種類と歌い方を考え実践してみよう	就学前および児童期の子どもにふさわしい歌の特徴を考えながら、歌って動いて実践してみましょう。	
		日本民謡の種類と特徴	日本民謡について、日本民謡の2つの種類について概説します。それぞれの特徴を音をとおして味わうことから考えてみましょう。	
准教授	板橋 夏樹	世界のさまざまなエネルギー教育	国によって、理科の教育方法・内容は大きく異なります。本講座では、エネルギー教育分野を例に、アメリカやイギリスの教育方法を紹介しつつ、エネルギーについての多彩な実験活動を通して理解を深めます。	理科教育
		ネイチャーゲームの世界	環境教育は座学で学ぶものだけではありません。ネイチャーゲームは、様々なアクティビティを通して自然を体感・学習する教育プログラムです。この講座では、実際に幾つかのアクティビティを行うことで、自然のすばらしさに気付くことができるでしょう。	理科教育

【教育学部 教育学科】

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	清水 禎文	変わる大学、変わる学び ヨーロッパにおける高等教育の大変貌	ヨーロッパでは欧州委員会の主導の下、高等教育(大学)が大きく変貌しつつあります。高等教育機関での学び方もまた大きく変わろうとしています。ヨーロッパの若者は、今何をどのように学ぼうとしているのか、具体的な事例に基づいてお話しします。	比較教育政策
		専門職のキャリア形成	真に専門職となるためには、長いトレーニングが不可欠です。大学を卒業して資格を取得しても、それはキャリアの入り口に立ったにすぎません。長いキャリアを見通して、キャリア形成に必要なものを考えます。	キャリア形成
教授	戸野塚 厚子	他国の教育を「窓」にして日本の教育(学び)を再考してみよう ～比較教育学への誘い～	教育学(カリキュラム開発、比較教育学):「いつでも誰でもただで学べるスウェーデンの学校」、「PISAの学力調査でトップレベルのフィンランドの学校」を紹介します。そして、他の世界、外から日本の教育を眺めてみると、どんな特徴と課題が見えてくるか……、一緒に考えませんか?	教育学
		「共に生きることを学ぶ」って?	教育学(カリキュラム開発、比較教育学):ユネスコの提唱を受けて、多くの国が「共に生きること(共生)」をカリキュラム化しようと挑戦しています。「移民との共生」、「大人と子どもとの共生」、「男女の共生」等、「他者との共生」を考え、葛藤することから何が見えてくるのか……。「共に生きるってどういうことなのか?」、「何のために学ぶのか?」を一緒に考えてみませんか?	
教授	豊澤 弘伸	小論文の書き方(国語・表現学習・学習指導)	構造に留意しながら、小論文を書く方法を学びます。トピックセンテンスとその他の文との関係に注意しながら、パラグラフの中の構造を作り、それを組み立てる形で小論文を構成していきます。	国語教育
准教授	大江 淳悟	『心のスポーツテスト』をやってみよう	『身体』のスポーツテストは小学校・中学校・高等学校で毎年行われ、馴染みがあると思いますが、『心のスポーツテスト』はやったことがありますか? 『身体』だけでなく、『心』の競技能力も測定してみましよう。	スポーツ測定評価
准教授	村野 敬一郎	動き始めた子ども・子育て支援新制度 ～変わる幼稚園、保育所(園)の制度～	「幼保連携型認定こども園」の拡充などを柱とする、質の高い幼児教育・保育の提供と都市部の待機児童解消を目指した新しい施策が動き始めました。それに触れながら、就学前の子どもたちのための教育・保育の在り方について考えます。	教育学
		歴史の中の子どもたち ～子どもを見るまなざし～	西洋の教育の歴史をひもとくなかで、子ども達はその時代においてどのように生き抜いていったのかを紹介します。	

【生活科学部 食品栄養学科】

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	佐々木 ルリ子	口から食べることの大切さを知る	口から食べることは生きることにつながります。食事はオギャアと生まれてから高齢までのライフステージごとまたは個々人で違います。いつまでも口から食べるためにどのような工夫をしているかを紹介しします。	給食経営管理論
教授	星 祐二	食品を科学する	皆さんに身近な食べ物、たとえばマヨネーズはいつ頃、どこで食べられていたの？日本にはいつ頃伝わったの？マヨネーズを作る材料は？そもそも犬猿の仲の水(食酢)と油が混ざってなぜマヨネーズになるの？などなど、普段皆さんがあまり考えないような切り口から食べ物を考えてみましょう。	食品化学
		食べ物のおいしさ -食感を中心に-	湿気ったお煎餅は美味しくないし、芯のあるご飯もおいしくないですよ。このように食べ物のおいしさにとって食感はとても大事な要因です。では、寒天ゼリーの食感とゼラチンゼリーの食感を正確に表現できますか？この出前講義では食物の食感(テクスチャー)について考察します。	
		食物の三次機能 -トクホって何-	「血圧の高めなかけ」の食品や油の吸収を抑えるお茶のCMがTVで流されたり、広告が新聞に掲載されたりしています。そのような食品は「トクホ」と呼ばれるものですが、具体的にどのようなものか知ってますか？そして血圧の上昇を防いだりするのはなぜでしょう。この出前講義では、そのような「トクホ」について考察します。	
		食物とタンパク質 -栄養素以外の働き-	タンパク質といえば、体の筋肉の材料というように栄養素としての働きをまっさきに思い浮かべることと思います。でも、お豆腐が固まったり、卵白をかき混ぜると泡だってメレンゲになったり、牛乳中で乳脂肪が安定でいられるのも、実はタンパク質の働きです。この出前講義では、タンパク質の知られざる働きについて考察します。	
教授	正木 恭介	痩せたら得する？太ったら得する？	わたしたちの体の素材は例外なく食物だけから供給されています。わたしたちが活動するためのエネルギーも同様です。しかし、食物の摂取が不足した場合には体重が減ります。過剰に摂取し続けた場合には太ります。「太って損すること、得する事。痩せて得する事、損すること。」を概説します。	栄養学
教授	矢内 信昭	IgA抗体の働き(免疫学)	IgA抗体は、腸を護る抗体です。どのように作られ、どのように分泌され、どのように使われるのかを解説します。	生化学
		脂肪細胞の働き	私たちの体には、栄養を蓄える組織として脂肪組織がありますが、この組織を構成する脂肪細胞には、脂肪を蓄える以外にも生理活性物質を分泌して、他の組織の働きを調節する作用があることを解説します。	
		腸内細菌と腸の細胞	私たちの腸の細胞には、腸内細菌を認識する仕組みがあり、細菌がいることによって腸の働きを調節することができ、腸内細菌が健康な状態を維持することに大切な役割を果たしていることを解説します。	
准教授	伊藤 佳代子	生活習慣病を予防しよう～食生活と運動から考えよう～	生活習慣病の現状について理解したうえで、生活習慣病を予防するための、また、重症化しないための食生活と運動の実践について一緒に考えます。	公衆栄養学
		みんなで取り組もう健康づくり	健康的な生活を過ごすために、健康づくりの大切さとポイントを、国や県などの健康づくり計画と併せ解説します。	
准教授	鎌田 由香	病院での管理栄養士の役割・管理栄養士になるためには	病院の管理栄養士の役割と業務内容について説明します。その他、管理栄養士はどのようなところで働いているのか、管理栄養士になるためにはどんな勉強をしなければならないのかを説明します。	臨床栄養学
准教授	後藤 知子	食欲調節の不思議を探る	おなかがすく(空腹になる)と食べ、おなかがいっぱいになる(満腹になる)と食べ止める、という精巧な食欲調節の不思議を探り、食欲調節の乱れについても考えていきます。	栄養生理学
准教授	丹野 久美子	高校生のためのスポーツ栄養学	競技力を向上させるためには、トレーニングと同様に栄養摂取も重要であることは、今やスポーツ界の常識となりました。では、スポーツ選手は何をどのように食べると良いのでしょうか。もっと強くなるために今すべきことを解説します。	栄養教育論
		高校生の食事の悩みを解決しよう	高校生は食事を自己管理できる半面、欠食やダイエットなどによる食生活の乱れが生じやすい時期でもあります。高校生に多い食生活の問題を取り上げ、どのようにしたら改善できるか、一緒に考えます。	

【生活科学部 生活文化デザイン学科】

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	大久保 尚子	布をいつくしむー江戸の循環型生活文化と現代ファッションー	今日、ファストファッションの一方で、長く愛着をもって服とつきあう「スロー」なスタイルも注目されています。布自体を大切にしている江戸時代の衣生活の意味するもの、現代の古着愛好の背景、流行に「消費」されないデザインを追求するデザイナーたちを紹介し、布や衣服とのつきあい方を考えます。	服飾美学 服飾文化史
		和の生活スタイルと遊びのデザイン	日本のデザインには「洋服」をまといベッドやテーブルを使う西洋の生活様式とは異なる特徴があります。風呂敷、きもの、和室に共通する「かたち」の特質を考え、江戸時代の人々が生み出した遊び心のある小袖や手ぬぐいの文様から和のデザインの面白さを学びます。	染織文化史
教授	本間 義規	ゼロエネルギーハウスをつくる	我々が生活するうえで必要とするエネルギーの3分の2は暖房や給湯などの熱利用です。熱の移動メカニズムを理解しつつ、住まいの省エネルギー技術やゼロエネルギーハウスの可能性について講義します。	建築環境学 省エネルギー技術
		住まいと湿度	夏は湿度が高くてムシムシしますし、冬は結露に悩まされます。夏はすぐにカビが生えますが、冬は乾燥して肌が荒れたり静電気が発生しやすくなったりもします。適切な湿度コントロールのための水分移動メカニズムや結露防止手法などについて考えます。	建築設備
教授	巖 爽	フィンランドの建築・暮らしとデザイン	森と湖の国・フィンランド。1年間の滞在・生活経験を踏まえて、女性の家事負担を軽減するための実用的なインテリアデザイン、暗く長い冬を楽しむための照明デザイン、そして洗練されたフィンランドの建築デザインを紹介します。	建築計画 環境心理
		少子・高齢化社会の医療・福祉施設のあり方	少子・高齢化社会において、地域でお年寄りの暮らしをサポートするために必要とされること、よい施設を作るために必要とされることなど、事例紹介を交えて一緒に考えてみます。	
准教授	須田 真史	生活と建築のデザイン	建築のデザインとは単に建物をデザインすることではありません。その建物を使う人の生活を考えてデザインする必要があります。様々な制約の中で、施主の要望に応えながら、設計者は建築をどのように設計していくのかをご紹介します。	建築設計論 建築計画
		癒しの環境としての病院建築	誰もがネガティブなイメージを持ち行きたくない建物、それが病院です。建築やインテリアの力でそのイメージを払拭し、人々の健康を支え、高度な医療を提供する病院建築のデザインについて考察します。	環境心理
准教授	藤田 嘉代子	働く女性にとって、仕事と子育ての両立とは？	日本では、子育ての負担が女性に重くのしかかり、男性はあまり家事や育児にかかわっていないことはよく知られています。では、フルタイムで働いている女性はどのように仕事の育児の両立を図っているのでしょうか。また、専業主婦、パートタイムで働いている女性は？どっちがどれくらいいいへんなのか、いろいろな角度から考えてみましょう。	家族社会学 ジェンダー論
准教授	安田 直民	家を建てる	家を建てるとはどんな行為でしょうか。建築主がお金を出すことでしょうか。建築士が図面を引くことでしょうか。大工さんが木を刻むことでしょうか。そうしたことを全てが家を建てることです。土地に出会い、建物をイメージし、構造を考え、建物を建設する、「家を建てる」流れを実際の図面や写真で紹介します。	建築設計実務 建築計画
		素材の話	現代の建物は様々な材料でできています。木、鉄、コンクリート、石膏、ガラス、アルミ、タイル、樹脂、紙、接着剤、ペンキ。こうした多くの材料を適材適所に使うことで建物が出来上がります。自分の身近な建物が何でできているか、なぜその材料が使われているのか。実際の素材に触れながら学んでいきましょう。	

【学芸学部 日本文学科】

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	九里 順子	近代詩が歩き出す時―北原白秋の〈感覚〉―	明治期以降の詩、つまり近代詩は時代にふさわしい形式・表現を作り上げるために、詩人たちがいろいろ工夫を重ねてきました。北原白秋もその一人です。「言葉の魔術師」と言われた白秋が繰り出す〈感覚〉世界を読んでいきます。	近代文学
教授	澤邊 裕子	日本語ってどんな言語？ 日本語教師ってどんな仕事？	日本語を母国語としない人に対して日本語を教える日本語教師という職業について、その内容や日本語教師になるために必要な勉強・方法について学びます。また、「は」と「が」の使い方はどう違う？ 「ん」の発音は一つだけ？ など、日本語を他の外国語と比べてどんな特徴があるか見ていきます。日本語について今まで気づけなかったおもしろい発見があるはずです。	日本語教育学
		世界に広がる日本語	海外で日本語を学んでいる人たちはどれくらいいて、どんな理由で学んでいて、どのように勉強しているのか、様々なデータや動画を通して紹介します。外国では日本の大衆文化が人気で、アニメや漫画に興味があって勉強している人たちがたくさんいます。そうした日本文化と日本語学習との関係についても考えていきたいと思います。	
教授	志村 文隆	東北方言の古さと新しさ	東北方言の特徴はどこにあるでしょうか。発音や単語などには、日本語の古語をルーツとする言葉もたくさん含まれています。一方で、「ズーズー弁」とも言われる発音の一部には、日本語の最先端の現象が隠れていたりもします。身近な方言の世界から日本語を探る授業です。	日本語学 方言学
		生きた言葉をつかまえる	本や新聞の中から言葉を拾うだけでなく、耳に聞こえる言葉を捉えてみたい。そんな願いをもとに、地域や社会で使われている方言や若者言葉を例に、言葉を調べる方法を伝授します。フィールドワークの楽しさを教室で体験してみましよう。	
教授	J.F.モリス	あなたは日本の地図が書けますか？	日本の歴史を語るときに、そもそも、「日本がいつできたか」を考えないと、「日本の歴史」を大きく誤解することになります。この授業では、日本の歴史の時代ごとに日本国の範囲がどのように変化してきたかを追ってみます。そこには、知っているはずなのにまったく気づいていない事実がたくさん隠されています。しかし、それらの事実を知らなければ、日本の今の国際関係上の問題を理解できません。歴史を知って、現在を知るようにしてみませんか。	日本史学 (近世史)
教授	深澤 昌夫	「変化の人」かぐや姫 ― その光と影 ―	絵本やアニメにもなり、日本人なら誰でも知っている「かぐや姫」。そのかぐや姫は竹取の翁に「変化(へんげ)の人」といわれています。かぐや姫は実際、帝の目の前でばつと「かけ」になったりするのですが、さて、かぐや姫が「かけ」になるとはいったいどういうことでしょうか？	古典文学
		「ちはやぶる」和歌を楽しむ ― 六歌仙を中心に ―	江戸時代の絵師 歌川広重が描いた「六歌仙」の絵を眺めながら、くずし字で書かれた小野小町や在原業平など、平安朝に名高い「六歌仙」の歌を読んでみましょう。	
		『源氏物語』の受難	『源氏物語』は千年前に書かれた長編の作り物語であり、日本文学史上並ぶものもない古典中の古典といつてよいでしょう。が、しかし、その『源氏物語』にも受難の時がありました。中世から現代まで対極的な評価に揺れた『源氏物語』の歴史について概観します。	
		闇の文学、闇の芸能 ― 『平家物語』入門 ―	生霊・死霊・怨霊・物の怪…。日本の文学と芸能は古来「闇」を見つめてきました。この講座ではラフカディオ・ハーンの「耳なし芳一」から『平家物語』にさかのぼり、決して「無常観」だけではない『平家物語』の魅力の一端を紹介します。	
		不思議の国のカブキ ― 超初心者のための歌舞伎入門 ―	日本が世界に誇る伝統芸能、歌舞伎。しかし、よく考えると歌舞伎にはさまざまな「???」があります。この講座では歌舞伎超初心者の方の皆さんの「歌舞伎ってなに？」という素朴な疑問にお答えします。	
准教授	李 敬淑	映画『君の名は。』は人間の物語ではない?! ― 映画分析の入門と新発見 ―	2016年8月に公開された映画『君の名は。』は、主人公たちの恋の物語をタイムスリップモチーフと織り交ぜながら展開される物語として広く知られています。しかし、この映画を学問的な観点から分析していくと、ただ「楽しむ対象」として鑑賞した時とは違う新しい発見に出会えます。皆さんと一緒に「映画を分析する」という新鮮な体験を共有してみたいと思います。	日本文化 (映像文化)
助教	菊地 恵太	日本流・漢字の付き合い方	漢字テストなどで苦手な印象のある人も多い「漢字」。中国生まれの漢字に初めて触れた日本人も大変苦労したことでしょう。一方で、日本人は古くから工夫を凝らして、漢字の独自の使い方を編み出していました。漢字を使った日本語の表し方、日本人が作った漢字、漢字の遊びなど、様々な面から日本人の漢字との付き合い方を読み解きます。	日本語学 (日本語史)

【学芸学部 英文学科】

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	ジョン・ウィルトシア	コミュニケーションとは何か	「コミュニケーション能力」という言葉はよくきかれますが、一体それは何を意味するのでしょうか。この講義では、その理解不足によって生じるおかしな英語の例をあげながら、真の「コミュニケーション」に必要な知識や技能について説明します。	児童英語教育
教授	遊佐 典昭	ことばから見る心・脳	私たちがことばを自由に操れるのは、脳内に言語を発し、理解することを可能とする言語知識があるからです。本講義では、英語、日本語を素材として、ことばの不思議を体験しながら、ことばの謎に迫りながら、心・脳の問題を考えたいと思います。	英語学 心理言語学 認知脳科学
		ことばの世界の面白さと不思議さ	何気なく使用している日本語を手がかりに、日本語の特徴、また英語との相違、共通点を考えてみたいと思います。人間の言語知識について学ぶことで、人間の心を解明する言語研究の紹介しながら、言語を研究することの知的興奮を味わいたと思います。	
		心理言語学と脳科学からみた日本人の英語学習	英語学習に関して多くの議論がなされています。この講義では、心理言語学、第二言語習得論、言語理論、脳科学から日本人の英語学習に関してどのようなことが分かっているのを解説します。	
教授	吉村 典子	英単語で探るイギリス文化の世界	英単語の意味の背景にある世界をみていきます。例えば'sport'には、「スポーツ」の他に、「気晴らし」や「娯楽」という意味があり、かつての英国貴族の生活様式と関係しています。このようにして語彙の世界を広げ、言葉と文化をつなげていきます。	イギリス文化
准教授	コーリー・コービー	Extensive Reading (多読) in the Language Classroom	Incidental language acquisition occurs naturally as language learners come into contact with the target language. Extensive reading (ER) is an method by which teachers can facilitate large improvements in language output with massive, comprehensible input. This workshop will clearly detail the benefits, methodology, and outcomes that occur when ER is employed.	英語教育
准教授	増富 和浩	ことばの構造から探る英文法の世界	受験勉強では、英文法は丸暗記するしかないと思われているかもしれませんが、ことばが持つ表面からは見えないが、頭の中では意識できる構造に注目すると、ただ決められているだけに思える英文法の裏に面白い規則性が見えてくる。そんなことについて考えてみたいと思います。	英語学

【学芸学部 人間文化学科】

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	今林 直樹	絵を見る楽しみ—フランス絵画を中心に—	絵を見るのは楽しい！ 理屈をこねずに絵をみることそのものを楽しんでみませんか。フランス絵画を中心にその楽しみの一コマをお話します。	国際関係論
		世界遺産の魅力—日本とヨーロッパ—	歴史と文化の魅力がたっぷりかつまった世界遺産。日本とヨーロッパの世界遺産を取り上げて、その魅力についてお話します。	
教授	内山 淳一	伊達政宗が開いた仙台藩の美術	仙台の基礎を築いた伊達政宗。その美意識は、天下統一を果たした豊臣秀吉にならったものでした。政宗が求めた豪壮で華麗な美の世界を、仙台城や瑞巖寺の遺品から探ります。	日本美術史
		江戸の動物は奇想天外	海外との交流が厳しく制限された江戸時代。しかし、象やラクダなど今の動物園でおなじみの動物たちも多くもたらされ、人々の関心の的となっていたのです。残された多くの動物画から、当時の庶民の驚きと感動を見てみましょう。	
教授	大平 聡	1200年前のサラリーマンたち	毎年秋、奈良国立博物館で開催される正倉院展で注目を集めるのが正倉院文書と呼ばれる奈良時代の文書群です。その多くは、経典を写した役所の事務帳簿で、1200年前のサラリーマンたちの日常が垣間見られます。古文書を読み解きながら、奈良時代のサラリーマン生活をのぞいてみます。	日本古代史
		学校日誌から読む日本の歴史	小学校に保存されている資料の中には、貴重な地域・学区の歴史情報が眠っています。特に戦時中の地域の様子がわかることは貴重で、他には得られない情報に満ちています。確かな文字資料をもとに事実を探り当てていく醍醐味を、味わっていただきます。	
		聖徳太子はいなかった！？	日本史上、最も有名な人物のひとり聖徳太子。近年、「聖徳太子はいなかった」という衝撃的研究が相次いで発表されています。「聖徳太子」の名前の問題からその実像に迫り、歴史学の研究方法をお見せしましょう。	
教授	八木 祐子	サリーからみるインドの社会と文化	インドの民族衣装であるサリーや腕輪・化粧からみえる女性の地位や家族関係について紹介します。急速に経済発展する社会で、どのように女性の生活が変わってきたのかについてもとりあげます。映像資料やフィールドワーク体験をまじえて、楽しくお話します。	文化人類学
		旅するインド—北インドの世界遺産	世界遺産の数が、世界で第6位のインド。北インドを中心に、インドの奥深い歴史や文化、世界遺産の魅力や宗教との関わり、隠された知恵などについて、映像資料をもちいながら、わかりやすくお話します。	
		インド・カレーの謎	インドには、「カレーライス」はありません。インドの人々が毎日食べているカレーの謎について、日本のカレーとどう違うのか、香辛料をたっぷり使った本場のインド・カレーの作り方、右手を使っての食べ方だけでなく、カレーの歴史や食文化全体についても、映像資料やフィールドワーク体験をまじえて、楽しくお話します。	
准教授	櫻井 美幸	女性は学校で何を学んできたか？	昔のヨーロッパの女性たちはどんな教科書を使っていたのでしょうか。今の私たちが受けている学校の授業とどう違っていたのでしょうか。中世から近代までのヨーロッパの女子教育史を史料を使って紐解いていきます。	西洋史学
		カレンダーの歴史 —2月はなぜ短い？—	現在、私たちが使っている太陽暦という暦はどのように誕生したのでしょうか。2月だけなぜ短い？7月と8月はなぜ続けて31日までであるの？古代ローマで作られた暦に秘められた数々の秘密を明らかにしていきます。	
		彼女たちはどのように生きたか？—ナチス・ドイツ時代に生きた少女たち—	ナチス政権時のドイツに生きた様々な立場の10代の少女たちの生き方を紹介しながら、ナチス・ドイツとはどのような体制であったか、普通の人々はどのように関わっていたかについて話します。被害者だけでなく、加害者、抵抗者も取り上げます。	
准教授	杉井 信	フィリピンの歴史と文化	日本から距離的には近いが、あまり知られていないフィリピンの伝統文化や現代の庶民文化、先住民の文化などを紹介し、そうした文化がどのような歴史の流れのなかで生まれたか、また歴史的に日本とどのような関係を結んできたかもお話します。	社会人類学

【学芸学部 心理行動科学科】

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
学科教員		心理学で何がわかるの？(心理学入門)	心理学の研究例をみながら、心理学ではどのように心をとらえるのか、心理学は私たちの生活とどのように結びついているのか、などについてお話します。	心理学
教授	大橋 智樹	カウンセリングと心理学の意外な関係とは？	心理学＝カウンセリング。そんなイメージは強いと思います。しかし、臨床心理士の立場からもそのイメージは正しくない。心理学の意外な姿をお話します。	経営心理学 応用心理学
		人工知能(AI)の発展から心を考える	人工知能(AI)の発展は、ロボットやコンピュータが人間と同じような心をもつことができるか？などの課題を投げかけています。この問題から「心」とはなにか、考えてみましょう。	
		人はなぜミスをしてしまうのか？	ミスをしない人はいません。不注意だから？違います。実は、ミスをしない人は生きていけないんです。人間とミスの関わりについて、考えてみます。	
教授	木野 和代	人はなぜ感じるのか？(感情心理学入門)	喜び・悲しみ・怒りなどの感情が生じるメカニズムやその働きについてお話します。これらから、感情コントロールの方法を考えてみましょう。	感情心理学
		怒りのメカニズムと人間関係	怒りはよくない感情として避けられがちです。なぜ私たちは怒りを感じるのでしょうか。自他の怒りについての理解を深め、向き合い方を考えます。	
教授	工藤 敏巳	競技スポーツに活かす心理学	部活動での目標設定の方法とやる気の関係、部活動の継続・離脱の問題について、具体例を挙げてわかりやすく解説いたします。	スポーツ心理学
		心理トレーニングの実践報告	ソフトテニス競技のナショナルチームや高校女子チームを例にして、競技スポーツで実践されている心理トレーニングについてご紹介します。	
教授	佐々木 隆之	メロディに隠された秘密？音楽認知の心理学	普段何気なく聞いている音楽には、作曲家が仕組んだ秘密がいくつも隠されています。実際の音楽の例を通して認知心理学を紹介します。	音楽認知心理学
		錯覚から考える知覚のメカニズム	錯覚を体験しながら、人間の知覚がどのようなメカニズムによって外の世界を作り上げているのかを理解します。	
		イメージの心理学－見えているものは確かか？	想像したイメージと目の前で見えているものはどれほど違っているのだろうか。知覚、想像、幻覚などのイメージについて、心理学の視点から考えてみます。	
特任 准教授	森 康浩	周囲の人に流されてしまうのはなぜ？	なぜ、人はルールや他者の主張に従ってしまうのでしょうか。社会心理学の観点からこのなぞについて考えてみましょう。	社会心理学
		環境が人にもたらす影響とは？	私たち人間をとりまく環境として物理的な環境であったり、社会的な環境があります。このような環境が人の心にどのように作用するのかをお話します。	
		社会現象・流行を生み出す心の科学	社会現象や流行は、人の心・行動と密接な関係があります。どのような関係があり、どのような影響をもたらすのか考えてみましょう。	

【学芸学部 音楽科】

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	小山 和彦	作曲にトライ	作曲は難しいものと思われがちですが、実はそんなに難しいものではありません。はじめは楽譜に正確に書けなくてもよいのです。まずは何か音を出すことから始めてみましょう。	作曲 音楽理論
		音楽の今と昔	私たちが、普段聴いているポップス、ロック、歌謡曲などはクラシック音楽などの伝統が何気なくしみこんでいます。そういった事柄を見つけてゆきます。	
教授	船橋 洋介	指揮をしてみよう	指揮とは何か、その役割について実際に指揮を体験しながら、さまざまな音楽の仕事を概観します。	指揮・音楽教育
		クラシック音楽の楽しみ方	指揮者の観点から、音楽を「演奏すること」と「鑑賞すること」の楽しみ方を、作曲家が書いた「楽譜」を通して、映像資料や実演を交えながら掘り下げていきます。	
准教授	井坂 恵	あなたの本当の声って？	誰でもその人にしかない声をもっています。でも多くの人が、自分の声の魅力に気づかずにいます。発声のポイントレッスンにより、自分の声を知り、可能性をひらきましょう。より愉しく歌えるようになるはずですよ。	声楽
准教授	太田 峰夫	絵画と彫刻からみるベートーヴェン像の変容	作曲家の肖像画を調べていくと、大作曲家について人々が持つイメージが、時間の経過とともに変化してきたのが分かります。この授業ではさまざまなベートーヴェン像を見比べながら、それらが描かれた時代背景について考えていきます。	音楽学
		「贋作」からみる音楽史	音楽史はさまざまな「贋作」を生み出してきました。過去のある一時期に、あやまって新作とみなされた作品を例にして、なにがわれわれの判断をくらせるのか、その原因を考えていきます。	
准教授	松山 裕美子	こんなに変わる！君のピアノ伴奏	県内の中学校では校内の合唱コンクールが盛んです。合唱部が盛んな高校もたくさんあります。そのピアノ伴奏が大きく変われたら、合唱全体ももっと飛躍できるはず。そのために、ちょっとしたポイントからアドバイスをしていきます。	ピアノ